

東カリブ諸国機構（OECS）6か国月間情勢報告

（アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

（2023年9月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

9月の東カリブ諸国機構（OECS）6か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

1 概況

- （アンティグア）ブラウン首相兼財務大臣は、全公務員の給与を来年度から14%引き上げること正式に承認した。
- （アンティグア）ブラウン首相は、アフリカ輸出入銀行の高金利を理由に同銀行の融資を辞退した。
- （アンティグア）英国は、カリブ地域における水と衛生設備保護に対する保険スキームに2,500万東カリブドル（919万米ドル）を出資。同支援を受けカリブ地域はカリブ水道事業保険組合（CWUIC）を発足した。
- （ドミニカ）27日に実施された次期大統領選挙において、同国初の女性及び先住民の大統領となるシルバニー・バートン氏が当選した。
- （ドミニカ）中国はドミニカにおける6つの新たな学校建設に向け総額3,000万米ドルの資金提供に合意した。
- （グレナダ）日本政府による無償資金協力であるグレナダ経済社会開発計画（2020年度）の取り組みの一環として、農業・土地・漁業・共同組合省にサルガッサム海藻除去のためのボートが供与された。
- （グレナダ）2023年1～6月の間に投資による市民権プログラム（CBI）を通じて市民権取得が承認された2011人の内、約9割がロシア国籍保持者であると報じられた。
- （グレナダ）6～11日、アンドール外相は訪中し、王毅中国外相と会談を実施。両国は二国間協力の新たな展望を切り開くため、互いに協力することで合意した。更にアンドール外相は、カリコム加盟国として初めて「海外での船舶の裁判上の売買及びその承認に関する国際条約」に署名した。

2 内政

- （1日アンティグア報道）ブラウン首相兼財務大臣は、全公務員の給与を来年度から14%引き上げることを正式に承認した。
- （19日セントキッツ報道）19日、セントキッツは独立40周年を迎えた。
- （27日ドミニカ報道）27日に実施された次期大統領選挙において、スケリット・ドミニカ首相が推薦するシルバニー・バートン氏が当選した。同国初の女性及び先住民の大統領となる。大統領就任予定日は10月2日。

3 経済

- （5日アンティグア報道）2023年上半期の税収は、消費と投資の活発化により前年同期比2,000万東カリブドル（735.2万米ドル）増となった。
- （6日アンティグア報道）ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）によると、アンティグアの2023年の経済成長率は、中南米・カリブ地域でガイアナに次いで2番目に高い9.5%を記録する見込み。
- （6日アンティグア報道）ブラウン首相は、アンティグアにおける天然ガス部門への投資の可能性についてアル＝アブドゥラ・カタール大使と協議を実施。同大使は同国におけるLNG（液化天然ガス）基地の設置を提案した。更にブラウン首相は、中東の大学と西インド諸島大学の学生交流の可能性に関して言及した。
- （7日ドミニカ報道）中国はドミニカにおける6つの新たな学校建設に向け総額3,000万米ドルの資金提供に合意した。
- （11日セントビンセント報道）シーザー農業・林業・漁業・地方変革・産業・労働大臣は、政府は全国の漁港施設における新たなリース契約提供の準備をしていると発表。
- （13日グレナダ報道）日本政府による無償資金協力であるグレナダ経済社会開発計画（2020年度）の取り組みの一環として、農業・土地・漁業・共同組合省にサルガッサム海藻除去のためのボートが供与された。
- （14日グレナダ報道）2023年1～6月の間に投資による市民権プログラム（CBI）を通じて市民権取得が承認された2011人の内、約9割がロシア国籍保持者であると報じられた。グレナダは同年4月1日以降ロシア国籍保持者のCBI申請受け入れを停止している。
- （15日アンティグア報道）モディ・インド首相は、同国の電子情報技術省とアンティグアの情報通信技術省との間で、デジタルトランスフォーメーションやITソリューションにおける緊密な協力及び知識・経験の共有に関する覚書（MOU）を締結することを承認した。

- （１９日アンティグア報道）ブラウン首相は、アフリカ輸出入銀行の高金利を理由に同銀行の融資を辞退した。
- （２０日アンティグア報道）英国は、カリブ地域における水と衛生設備保護に対する保険スキームに２，５００万東カリブドル（９１９万米ドル）を出資。同支援を受けカリブ地域はカリブ水道事業保険組合（CWUIC）を発足。同組合は、ハリケーンや洪水などの災害で損なわれた設備修復における保険金の提供を担う。
- （２７日アンティグア報道）本年７月の全品目指数は前年度比５．０％上昇した。

４ 外交

- （２日セントルシア報道）国際青少年大使交流プログラムに参加するため４０人の学生が台湾から訪問し、政府高官との会談や学校訪問、現地の学生との交流、文化活動などを行った。
- （６日グレナダ報道）６～１１日、アンドール外相は訪中し、王毅中国外相と会談を実施。両国は二国間協力の新たな展望を切り開くため、互いに協力することで合意した。更にアンドール外相は、カリコム加盟国として初めて「海外での船舶の裁判上の売買及びその承認に関する国際条約」に署名。同条約は２２年１２月７日に国連総会で採択され、他１４か国が署名している。
- （１５日ドミニカ報道）米国国務省は、今後東カリブ諸国の２か国に新たに大使館を設置することを検討していると発表。詳細は未発表。
- （１９日、２１日セントビンセント報道）シーザー農業大臣は台湾を公式訪問し、チェン外務副大臣やトゥー農業副大臣、リー台湾財団法人国際合作発展基金会（ICDF）事務局長を表敬訪問した他、桃園区農業研究所を含む複数の技術機関を訪問した。
- （２２日グレナダ、２３日セントルシア報道）ニューヨークで開催された第７８回国連総会ハイレベルウィークにおいて、グレナダはケニア及びアイルランドと、セントルシアはシエラレオネと外交関係を樹立した。